

横浜市立杉田小学校 平成29年度 1月学校だより 563号 平成30年3月1日
の ゑ み



学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL771-0649

希 望

自分がめざすことのために

学校長 村上 裕子

今年も紅梅・白梅が咲き誇り、杉田小学校らしさを醸し出しています。昨年花壇のフェンスの脇に植樹した杉田梅も小さいながら可憐な花をつけました。もう春はそこまできています。

2月9日より平昌で開催されていた第23回オリンピック冬季競技大会も25日をもって閉幕いたしました。今大会、日本が獲得したメダルは合計で13個となり、冬季では1998年の長野大会を超えて最多となりました。それぞれの演技・競技では数々のドラマが見られました。各選手は日本代表として自分に厳しく努力を重ねて、演技・競技の当日を迎えたことと思います。練習の成果を出しきり笑顔の選手もいれば、残念ながら出せなくて不本意な結果だった選手もいました。

フィギュアスケートの羽生結弦選手は前回のソチオリンピックでの金メダルから平昌オリンピックまでの4年間、連覇をめざして練習を重ねてきました。しかし、皆様もご存じの通り、昨年11月に練習中大きな怪我に見舞われてしまいました。オリンピック出場にも黄色信号がともった日々もあったことでしょう。あるインタビューの中で羽生選手が、「氷上に立つ時間は短かったですが、その分に見合うほどの努力をしてきたから大丈夫です。」と答えていました。実際にジャンプを跳び始めたのが大会の2～3週間前とのことでした。そのような状況で本番に向かう精神力と完璧な演技をめざす集中力には感服しました。羽生選手の中に、いままで支えてくれた方々への感謝の気持ちがあったからこそがんばり続けられたのではないかと思います。「努力は報われる。練習はうそをつかない。」と子どもたちにもよく伝えていきます。まさに66年ぶりの今回の快挙は、その言葉通りになって誇らしく感じました。

学校でも2月7日に個別支援学級の磯子区合同学習発表会が行われました。杉田小学校の5・6・7組は「杉田オールスターズ」というタイトルでリズムダンスの演技をしました。本番に向けて本当に毎日よく練習をし、その成果を立派に発表できました。さらによかったのは、一人ひとりがいきいきとダンスをしていたこととダンスがよくそろっていたことでした。それまで練習してきた自信に裏付けられている姿だと感じました。

6年生は、長い小学校生活もあと10日余となりました。この6年間、それぞれの節目で目標に向けて努力をしてきました。多くの人とかかわり、たくさんの思い出を残すこともできました。卒業式には、胸をはっていままで成長を見守ってくださった皆様へ晴れの姿を見せてほしいと思います。最上級生として下学年のよきリーダーとなり活躍をした6年生の姿をしっかりと見届けたいです。残された日々を大切に過ごし、最高の卒業式が迎えらるるよう支えていきます。

今年度も「学校大好き このまち大好き杉田っ子」の学校目標が保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご尽力で少しずつ具現化して参りました。生活科や杉田の時間等の学習では、多方面から地域の方々のお力をお借りしました。「わくわく杉田ワールド」では各カルチャーの講師の皆様から丁寧なご指導を受けました。PTAの役員はじめ各委員会の皆様、図書ボランティアやおやじの会等々の皆様にも学校の教育活動にご協力をいただきました。皆様のご理解とご協力のおかげで、地域と家庭と学校が連携を図ることができました。本当にありがとうございます。来年度も今年度同様、学校教育へのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。